

「天動説の絵本」

川崎市立宮前小学校六年 小澤 おざわ 由佳 ゆうか

興味私がある本を選んだ理由は、歴史や宇宙に
の絵本と目があつた気がして「これは読み始め
みたい！」「古典的だと思つた。この本を読みな
ると、古代ペーペーどんぐり引き込まれた。世
界に旅を
絵本を讀んでいよう。昔の人の考
え方や気持ちにどんぐり引き込まれた。昔の
宇宙の中心にあり、太陽や星々が回つて
いると、惑星の人は「地球は中心で、太陽は
宇宙の中心にあり、地球は太陽の周りを回
っている」といふことがわかった。でも、
「戸惑い」が、地球は中心で、太陽は中心で、
で、想像し、違ふ。普通、当たり前、
ことと、実は違ふ。普通、当たり前、
瞬間、この本は、地球と太陽の關係に不思議を抱
いた時、「自分以外の視点で考えてみたい時」
に、昔の科学者を通じて「どうして昔の人はこ
う考えたのか？」と考へることで、今の自分
の考え方も変わる。毎日、生活でも、知識が
え、当たり前じゃなく、毎日、生活でも、知
が、当たり前じゃなく、毎日、生活でも、知
ます。イラストもない、疑う、見やう、
や、科学が難しいと思つて、宇宙や星が、
読め、読むと思つて、宇宙や星が、
に、読むと思つて、宇宙や星が、
読め、読むと思つて、宇宙や星が、
そ、読むと思つて、宇宙や星が、
私、天動説の絵本は、ただの絵本ではなく、
昔の人の大切な考えを知ること、自分たちの考
え、広がり、新しい本を、視点をもつて、歴史
宇宙の、こま、おもしろく感じられる、よう
り、宇宙の、こま、おもしろく感じられる、よう